

ドラム缶風呂

ドラム缶に張った水をまきで沸かして入ります。
憧れのドラム缶風呂を是非一度体験してみてください！なんと
もいえない豊かな気分になり、景色も違って見えますよ。



対 象	3歳以上	実施時期	6～9月
持ち物	水着・タオル・着替え・バケツ・マッチ・新聞紙・軍手（滑り止めのないもの）		

ねらい

- ・自分たちで水からお湯を沸かし、お風呂に入ることの楽しさを知る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、本所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は本所職員が行います。

以降は、各団体が中心となり進行してください

準備（1 缶めやす 15 人）4 缶まで

- ① 役割分担：火起こし係を決めておきます。
- ② 備品を借り、運びます。かまどや使用場所を確認します。荷物を置きます。
- ③ ホースをのばします。
- ④ ドラム缶をかまどに設置し、水を缶の 3 分の 1 くらい入れます。
しっかりと設置をしましょう。ドラム缶がぐらつくと危険です！
- ⑤ 火をかまどにおこし、湯を沸かします。（30 分くらいかかります）
- ⑥ 水をたして湯加減を調節します。

実施

- ① 水着に着替えます。
- ② 脚立を設置します。
- ③ すのこを中に入れ、沈めながら入ります。このとき、必ず他の人がドラム缶を押さえます。火傷に注意してください。また、入浴の介助も行います。
- ④ 時間を決めて交代で入ります。

片付け

- ① お湯を冷まします。
- ② ホースは水抜きをし、泥を拭きます。脚立は足を拭きます。

- ③ お湯が冷めたら、ドラム缶の水を捨てます。
- ④ 返却時にドラム缶の中を洗います。
- ⑤ 灰を片付けます。

まとめ

- ・ふりかえり

留意点

- ① 薪を運ぶときは軍手をし、とげが刺さらないように注意しましょう。
- ② 火を扱う際は必ず軍手をし、長袖・長ズボン・帽子を着用しましょう。なお長袖長ズボン着用は熱中症に繋がる可能性もあります。その為、団体指導者が体験者の様子を観察して、適宜、服装を調節させ、熱中症を防ぐようにしてください。
- ③ 軍手は綿製の物にし、滑り止めつきの物は左右逆（滑り止めを手の甲側）にして使用しましょう（溶けたゴムによる火傷の防止）。
- ④ 炊事場周辺では絶対に走らせないようにしてください（火・刃物事故の防止）。
- ⑤ 火を使う活動です。火傷等十分注意しましょう。
- ⑥ 後片付けを、しっかりしましょう。使用した用具や場所はきれいにもとに戻しましょう。
- ⑦ 洗剤は使用しないようにしましょう。
- ⑧ 熱いお湯のまま川へ流さないでください。